

エステイの 国際交流コーナー



（ 夏の楽しみ ）

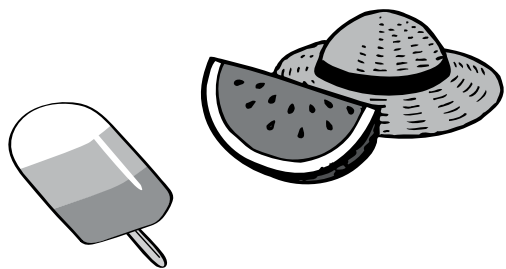
皆さんこんにちは！暑さに負けずにお元気でいらっしゃいますか。

夏になってからイスラエルの夏について質問されることが多いですので、今月は夏の話をしたいと思います。

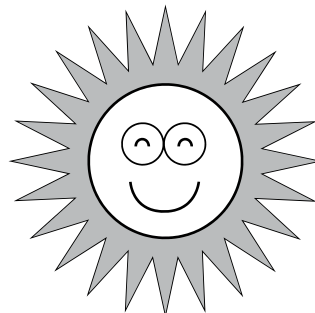
実は、イスラエルと日本の夏の温度だけを見れば、あまり違いはありません。全国で30度ぐらい、死海のあたりやエイラトなどで40度ぐらいの暑い夏です。しかし、空気湿度は日本より低いので、暑さの感覚もちょっと違います。

5月から9月まで雨がほとんど降らないので、植物が乾燥して、黄色い草が広がります。日本の緑に溢れた夏の景色と全く異なります。雨のない夏に慣れてしまった私は今の梅雨の季節でも傘を持たずに家を出ることが多いです。

イスラエルの学校の夏休みは2ヶ月間で、子供たちにとっては、長くて楽しい時期です。両親はこのような長い休みをもらえませんが、多くの子供たちはサマーキャンプに参加します。キャンプの種類は最近増えて、スポーツ、科学、工作、英語、乗馬まで教えるキャンプがあります。多くの高校生は夏休み中このサマーキャンプ、または、様々な店でアルバイトをします。



家族の時間は海辺あるいはプールで過ごします。子供たちは砂で遊んだり、泳いだり、アイスクリームやアイスキャンデーを食べたりします。そして、イスラエルには大人気な海辺の遊びがあります。「マトコット」という木製（もくせい）のラケットを使うビーチテニスみたいなゲームです。それを海岸で遊ぶ人が多く、浜辺を歩くときは、飛んで来るボールに注意しなければなりません。



近年、イスラエルでも日焼けの危険に対する認識が高まってきました。テレビなどでは、日焼け止めを使い、帽子をかぶり、サングラスをかけて外へ出るようにキャンペーンを流しています。しかし、日本のように日傘を差して歩いている人があまり見られません。そして、イスラエルでは団扇も脂取り紙も使いません。

イスラエルの夏の最も危ないところは、晴れの日々が続き、激しい日光のために運転者が眠ってしまい、交通事故が続発します。特に高速道路を走ると、時々止まって、リフレッシュしなくてはなりません。

皆さんも気をつけて、夏の暑い日々をゆっくり、楽しくお過ごしください。